



自由民主党 衆議院議員

**みやじ 拓馬**

多様で公正な社会へ

社会は変えられる。さあ、ともに歩もう。

発行：令和7年5月31日(土)みやじ拓馬後援会 新屋敷町16-422

## 外務副大臣として国内外を飛び回る

オマーンで開催された「インド洋会議 2025」に出席し、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、今こそ法の支配を堅持し、国際社会の協調を促すことが重要であると訴えました。その後、オマーンの外務大臣と会談し、両国の友好関係の深化に向け、有意義な意見交換を行うことができました。また、外務省内にてラオスの政権幹部一行の表敬を受けた際には、「包括的戦略的パートナーシップ」の具体化に向けた議論を行うとともに、災害支援団体「アジアパシフィックアライアンス」との面会においては、日本発の防災分野の取組みを諸外国で活用するための方策について議論を交わしました。これらはほんの一例に過ぎませんが、国内外において我が国の国益を守るとともに、世界平和に貢献すべく、外務副大臣としての職務に日々全力で取り組んでいます！



## 地元でも精力的に活動を継続

当選以来続けている朝の辻立ちは、外務副大臣となった今も継続中です。通勤通学中の皆様にご挨拶をしながら、政治家としての原点を忘れず活動を続けています。また、自民党桜島支部が新たに発足しました。錦江湾横断道路の実現など、地域の皆様の思いに丁寧に耳を傾けながら、一步一步形にしていく決意を新たにしました。さらに、鹿児島レブナイズの試合を観戦した際には、フリースロー企画に飛び入り参加させていただきました（見事に外してしまいました…(^^;)）プロの技術の高さを改めて実感するとともに、「する」だけでなく、「観る」スポーツの可能性を大いに感じました。バスケットやサッカー、バレー、ラグビーなど、地域の活性化に直結するスポーツの振興に引き続き全力で取り組んでまいります！



## 「共生社会実現フォーラム」に出席

異なる文化的背景を持つ人々との対話を深める

「共生社会実現フォーラム」にて開会挨拶を行い、外国人住民が多様なバックグラウンドを活かして地域の活力向上やまちづくりに貢献することへの期待を述べました。地元鹿児島でも外国人材が欠かせない存在となる中、地域での共生実現には、異なる文化的背景を持つ人々との対話を深めることが重要です。共生社会実現に向けた自治体間の国内外連携について、有識者による講演やパネルディスカッションが行われ、大変意義深い会となりました。政治信条である「多様で公正な社会の実現」に向け、外務副大臣の立場でも力を尽くしてまいります！



## 駐日ジャマイカ大使と有意義な意見交換

カリブ諸国との関係強化を

外務省を表敬訪問されたリチャーズ駐日ジャマイカ大使と面談し、我が国がこれまで培ってきた離島振興・防災の経験を共有し、同じく島嶼国ならではのハンデを抱えるジャマイカをはじめとするカリブ諸国の課題解決に協力していく旨を伝えました。また、力による一方的な現状変更の試みに対する強い懸念と法の支配の重要性について一致するとともに、大使からは、日本との外交関係樹立 60 周年と長年にわたる支援に感謝の意を表明されました。離島地域を多く有する鹿児島県選出の国会議員としても、大変有意義な意見交換となりました。



## 千鳥ヶ淵で行われた遺骨引き渡し式に参加

帰還した英霊に哀悼の誠を捧げる

パラオのアンガウル州サインパン墓地で行われた令和 6 年度第 5 次遺骨収集団による追悼式で焼骨された 5 柱のご遺骨が本邦へ持ち帰られました。アンガウル州からの遺骨の帰還は今回が初めてであり、遺族や関係者にとって特別な意味を持つものとなりました。祖国や愛する家族のため命を懸けて亡くなられた英霊に哀悼の誠を捧げるとともに、混迷を極める世界情勢の中、外務副大臣として、国民の生命と財産、そして国益を守り、また、世界平和に貢献すべく、決意を新たにしました。



## 広島県知事及び長崎県知事による表敬

「核兵器のない世界」の実現に向けて

外務省において、湯崎広島知事と大石長崎県知事から核兵器禁止条約への署名・批准に関する要望書を手交され、私からは核軍縮・不拡散に向けた政府の取り組みを紹介しました。国際情勢がより一層緊迫化し、周辺核保有国の力による一方的な現状変更の試みが強化される中、一筋縄ではいかない問題ですが、私も広島市役所勤務時代に被爆の実相を学び、「核兵器のない世界」の実現に強い思いを持つからこそ、国民の生命と財産を守り抜く覚悟を示しつつ、着実な道を歩んでまいります！



最新情報を更新中、是非登録をお願いします！

Instagram



X (twitter)



YouTube



Facebook



LINE

